

# 平成24年度 第2回松江市入札監視委員会

## 議 事 概 要

開催日及び場所	平成24年11月1日(木) 松江市役所 本館北棟3階 入札室	
委 員	委員長 朝田 良作(島根大学法科大学院教授) 委員 有田 友子(元島根地方労働審議会委員) 上田 務(松江工業高等専門学校名誉教授) 大野 敏之(弁護士) 後藤 勇(公認会計士)	
審議対象期間	平成24年4月1日～平成24年7月31日	
報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率等の状況について</li> <li>・入札方式別発注工事等の状況について</li> <li>・指名停止等の運用状況について等</li> </ul>	
審 議 事 項	抽出案件数 5件	
	一般	1. 平成24年度千酌港沖防波堤改良工事 2. 市営湊南台住宅3号線災害防除工事
	指名	3. 第一中学校外1校空調設備更新工事 4. 下水道工事に伴う舗装復旧工事
	指名	5. 平成24年度稻積川測量調査設計業務委託
	(備考)	抽出の考え方(抽出担当委員) 次の点に着目し、抽出を行った。 ・契約金額の高い案件。 ・落札率の高い案件。 ・担当課が偏らないよう配慮。
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見又は勧告の内容	なし	

※参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

## 抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	平成24年度千酌港沖防波堤改良工事		
工期	平成24年6月14日～平成24年12月10日		
工事種別	土木一式工事		
工事概要	<p>防波堤</p> <p>基礎工 基礎捨石工 V=3,365 m<sup>3</sup></p> <p>被覆工 被覆石工 V=53 m<sup>3</sup></p> <p>被覆ブロック製作(4t型) N=73個</p> <p>被覆ブロック据付(4t型) N=467個</p> <p>上部工 コンクリート嵩上工 V=76 m<sup>3</sup></p> <p>消波工 消波ブロック製作(12t型) N=44個</p> <p>消波ブロック据付(12t型外) N=252個</p> <p>構造物撤去工 消波ブロック撤去 N=263個</p>		
入札参加資格	<p>①資格及び格付、総合点数 平成23・24年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載があり、土木一式工事の総合点数が1001点以上であること(松江市の格付Aに相当)。</p> <p>②営業所所在地 建設業法に規定する営業所を松江市内に有すること。</p> <p>③工事実績 以下2つの要件を満たす工事実績を有すること。 ・平成9年度以降に完成した公共工事のうち、1契約で5000万円以上の土木一式工事の施工実績があること。 ・島根県内で平成9年度以降に完成した公共工事のうち、港湾、漁港漁場及び海岸工事(国及び地方公共団体が発注する主作業船を使用して施工する海上工事)において、1契約で1個当たり12トン以上の消波ブロックを100個以上据え付けした施工実績があること。</p> <p>④配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係があること。また、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できること。 また、島根県内の公共工事で、平成9年度以降に完成した港湾、漁港漁場及び海岸工事の工事経験があること。</p>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	<p>設定理由:「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。</p> <p>経緯:平成24年5月9日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。</p>		
入札参加資格確認申請業者数	3社		
入札参加業者数	3社	無資格業者数	なし
予定価格(税込)	112,835,100円		
調査基準価格(税込)	97,045,200円		
契約金額(税込)	108,990,000円(落札率:96.59%)		
入札の経緯及び結果	<p>平成24年6月5日 開札 最低価格者:カナツ技建工業(株)</p> <p>平成24年6月7日 事後審査の結果、カナツ技建工業(株)に落札決定(詳細は「入札調書」のとおり。)</p>		

## 抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	市道湊南台住宅3号線災害防除工事		
工期	平成24年7月5日～平成24年12月7日		
工事種別	とび・土工・コンクリート工事		
工事概要	施工延長 L=37.4m 抑止杭φ355.6mm L=8.1m(平均) N=33本 水抜きボーリング N=7本 擁壁裏側モルタル注入 V=14 m <sup>3</sup> 舗装工 A=150 m <sup>2</sup>		
入札参加資格	① 営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 ② 工事実績 平成9年度以降に完成した公共工事のうち、地すべり対策として行う抑止杭工事の施工実績があること。 ③ 配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係があること。また、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できること。		
入札参加資格設定の理由及び経緯	設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯：平成24年6月6日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。		
入札参加資格確認申請業者数	3社		
入札参加業者数	3社	無資格業者数	なし
予定価格(税込)	30,605,400円		
最低制限価格(税込)	25,798,500円		
契約金額(税込)	28,875,000円(落札率：94.35%)		
入札の経緯及び結果	平成24年6月27日 開札 最低価格者：(株)日本海技術コンサルタンツ 平成24年6月29日 事後審査の結果、(株)日本海技術コンサルタンツに落札決定 (詳細は「入札調書」のとおり。)		

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	第一中学校外1校空調設備更新工事
工期	平成24年7月10日～平成24年9月30日
工事種別	管工事
工事概要	<p>更新機器</p> <p>①第一中学校（保健室・自学室） ガスヒートポンプ式エアコン            室外機 冷房能力 35.5kw 暖房能力 40.0kw 1台            室内機 冷房能力 9.0kw 暖房能力 10.0kw 天井カセット型 4台</p> <p>②第三中学校（保健室・美術室・準備室・校務技師控室・和室） ガスヒートポンプ式エアコン            室外機 冷房能力 56.0kw 暖房能力 63.0kw 1台            室内機 冷房能力 9.0kw 暖房能力 10.0kw 天井カセット型 3台            室内機 冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.0kw 天井カセット型 3台            室内機 冷房能力 5.6kw 暖房能力 6.3kw 天井カセット型 2台</p>
工事のランク	なし
指名業者数	20社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、管工事登録のある市内業者で主たる施工実績が空気調和設備工事である23社のうち、20社をローテーションで選定した。
入札参加業者数	15社（5社辞退）
予定価格（税込）	8,662,500円
最低制限価格（税込）	調査基準価格及び最低制限価格を設定しない工事
契約金額（税込）	8,190,000円（落札率：94.55%）
入札の経緯及び結果	平成24年7月6日 開札 山陰温調工業(株)に落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	下水道工事に伴う舗装復旧工事
工期	平成24年5月22日～平成24年9月28日
工事種別	舗装工事
工事概要	舗装工 アスファルト舗装 A=2,000 m <sup>2</sup> コンクリート舗装 A=450 m <sup>2</sup>
工事のランク	なし
指名業者数	11社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、舗装工事登録のある市内業者のうち、アスファルトフィニッシャーを保有（継続的なリース契約を含む）し、恒常的にオペレーターが在籍している11社から全者を選定した。
入札参加業者数	11社
予定価格（税込）	18,131,400円
最低制限価格（税込）	15,204,000円
契約金額（税込）	17,850,000円（落札率：98.45%）
入札の経緯及び結果	平成24年5月15日 開札 双葉建設(有)に落札決定。 （詳細は入札経過表のとおり。）

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
業務名	平成24年度稲積川測量調査設計業務委託
委託期間	平成24年6月29日～平成24年12月13日
業務種別	土木関係建設コンサルタント
業務概要	<p>測量業務（路線測量、河川測量） 1式          用地測量業務 A=17,500 m<sup>2</sup> 1式          物件調査業務 1式          設計業務          護岸詳細設計 片岸設計 L=0.34km          護岸詳細設計 両岸設計 L=0.13km          橋梁詳細設計 2橋          仮設構造物詳細設計 2箇所          地質・土質調査業務 1式</p>
業務のランク	なし
指名業者数	20社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、土木関係建設コンサルタント業務登録のある市内及び準市内業者のうち、建設部門の技術士またはRC CMが在籍する23社の中から、20社をローテーションにより選定した。
入札参加業者数	20社
契約金額（税込）	23,100,000円
入札の経緯及び結果	平成24年6月26日 開札 (株)アトラスに落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)

## 【報告事項等について】

(契約検査課長挨拶)

- ・本日の委員会は平成24年4月から7月までの入札案件についてご審議いただく。平成24年度に入り制度改正等を行ったものとしては、総合評価制度の対象金額を4千万円以上に引き上げたこと、測量・建設コンサルタント等の業務委託は500万円を境に、500万円未満で最低制限価格制度、500万円以上で低入札価格調査制度を試行実施したことが挙げられる。また、発注見直しについては、従来上期下期の年2回の公表としていたものを、四半期毎に修正公表することとし、入札の適正化及び効率化に努めているところである。
- ・今回の報告案件では、継続課題となっている「入札辞退者・予定価格を超える入札者の多い入札の状況について」、「特別共同企業体の入札実績」、「舗装工事の落札率等の推移」についても引き続きご審議いただき、ご意見を賜りたい。

## 1. 落札率等の状況について

(報告要旨)

[建設工事]

- ・平成24年4月から7月までの落札率は、調査基準価格等を設定しないものを除いて89.0%と、前年度と比較して2.98ポイント低下している。低下理由としては、発注件数の多い土木一式工事、建築一式工事の落札率が低下傾向にあり、競争性が高まっていると思われること、また、電気通信業種の「高機能消防指令センター整備(システム)工事」は、設計額が大きく、落札率が77.62%と低かったことが大きく影響しているものと推測される。
- ・月別入札件数と落札率の推移について、4月から7月までの入札件数は119件で、前年同期114件からは5件増加している。落札率については、4月、5月は今期平均と同じ89%前後で推移し、6月は高く、7月が低くなっている。6月は今回審査案件の「平成24年度千鶴港沖防波堤改良工事」などが落札率を引き上げている。7月は「高機能消防指令センター整備(システム)工事」の落札率が77.62%とかなり低かったことが影響し、月平均を大きく引き下げている。この案件は、機器等製品価格の比率が高いため、調査基準価格を設定していない工事である。
- ・工種別の落札率について、土木一式工事は0.7ポイント低下している。また、建築一式は5.16ポイント低下している。主な要因は、小中学校の耐震補強工事等が落札率を引き下げていることである。とび土工は、今回抽出案件の「市道湊南台住宅3号線災害防除工事」等が落札率を引き上げている。電気工事は、宍道中学校校舎太陽光発電設備設置工事が98%台と高い落札率であった。管、舗装、塗装、防水は低下している。特に防水工事は、主に校舎の屋上防水工事で85%~87%と低めの落札率となっている。
- ・価格帯別の落札率推移については、前年度と比較して2千万円未満までの低価格帯では、3年続けて落札率が低下している。発注額の減少等により、低価格帯でも競争性が高まっているものと推測される。2千万円以上8千万円未満までの価格帯でも落札率が低下している。件数はまだ少ないが、主に下水道工事、小中学校校舎の耐震補強工事などである。8千万円以上9千万円未満で落札率が高くなっているのは、港湾工事である。

[業務委託]

- ・平成24年4月から7月までの平均落札率は92.24%で、前年度と比較して1.34ポイント上昇している。
- ・月別入札件数と落札率の推移について、5月は小学校校舎などの耐震改修設計業務委託が計6件あり、平均落札率が95.19%と高く、落札率を引き上げている。6月は、耐震診断業務委託等落札率が高いものもあったが、前年同期落札率が高かった地籍調査業務委託6件の落札率が今年は低かったこともあり、前年度より低下している。7月は設計額が比較的高い案件の落札率が低かったため、低下している。
- ・業種別の落札率について、測量は地籍調査業務委託6件が前年度より低かったことから、低下している。土木設計は下水道台帳図修正業務委託、測量調査設計業務委託等で落札率が高い傾向があり、上昇している。建築設計は、耐震改修設計業務委託、耐震診断業務委託等の落札率が高かった影響で上昇している。「土木」、「地質調査」、「補償」は上昇し、「その他」は低下している。
- ・価格帯別の落札率推移について、1千万円未満、また2千万円以上3千万円未満の価格帯で高く、1千万円以上2千万円未満の価格帯では低下している。

## 2. 入札方式別発注工事等の状況について

<p>(報告要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般競争入札については、平均落札率が85.29%で、前年同期と比較し4.55ポイント低下している。指名競争入札は前年同期とほぼ同率である。随意契約は案件がなかった。業務委託の指名競争入札は2.17ポイント低下している。主な特徴として、一般競争入札については、工種別平均落札率をみると、電気通信の案件が全体の落札率を引き下げている。また、一般競争入札の土木一式工事の落札率を発注課別で比較すると、土木課発注の道路改良等の工事よりも下水道工務課発注の下水道管敷設等の工事の方が、落札率が低い傾向にある。</li> </ul>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○業務委託の補償とはどのような業務か。</p> <p>○一般競争入札の中で「高機能消防指令センター整備(システム)工事」があるが、参加申請業者数、入札参加業者数ともに1社で、契約金額が高く、落札率は77.62%と低くなっている。この案件は、システムに関するものだと思うが、随意契約としなかったのはなぜか。</p> <p>○他社は参加が可能だということを知っていたか。</p>	<p>○補償は、道路改良等により建物の移転等をする際の物件調査を行うもので、具体的な案件としては、「市道役場深原線物件調査業務委託」で八雲町の案件である。</p> <p>○この案件については、改修するにあたり他の業者も参加できる条件、仕様にして、随意契約ではなく一般競争入札を行った。結果として、1社参加というものだった。</p> <p>○入札公告をしてから質疑を多数受けているので、認識していると思われる。</p>
【審議事項について】	
1. 一般競争入札【平成24年度千酌港沖防波堤改良工事】	
<p>(説明のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事は、既存の防波堤を越波して大量の波が港内に進入し、港内の船や漁具等に被害が発生しているため、防波堤を整備するものである。</li> <li>入札参加資格は、土木一式工事の総合点数が1001点以上、格付A以上に相当し、建設業法に規定する営業所を松江市内に有する事業者で、平成9年度以降に完成した1契約で5千万円以上の土木一式工事の施工実績、また、島根県内で平成9年度以降に完成した公共工事のうち、港湾、漁港漁場及び海岸工事において、1契約で1個当り12トン以上の消波ブロックを100個以上据え付けした施工実績があることとしている。</li> <li>配置予定技術者については、申請者との直接的・恒常的な雇用関係があり、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できること、また、島根県内の公共工事で、平成9年度以降に完成した港湾、漁港漁場及び海上工事の工事経験があることを条件としている。</li> <li>入札参加資格確認申請数は3社、入札参加者数も3社である。</li> <li>契約金額は112,835,100円、落札率は96.59%である。</li> <li>入札参加可能業者としては15社を想定している。平成22年度以降の港湾漁港漁場及び海岸工事の入札状況をまとめたところ、平成22年度の平均落札率は97.34%、平成23年度の平均落札率は98.00%に対して、今年度は7月末時点で94.11%と下がってきている。</li> </ul>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○資料の提示により、港湾漁港漁場及び海岸工事については、以前より高止まりの傾向があるが、経年の状況の変化が良く分かる。この工事は交付金事業で5カ年計画によるものだが、発注としては単年度毎の発注を行うものの、同じ業者が受注していくということはないか。</p>	<p>○基本的には、どの業者でもできる工事内容となっている。</p>

<p>○昨年度発注工事と比較すると、昨年度分は面積が狭く施工性も良さそうなのに金額が高く、今年度分は面積が広いのに金額が低くなっているのはなぜか。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○昨年度はブロックの製作のみを行い、製品は仮置きして現場には入っていない。今年度は一部製作に加え、現場全体について据え付けまでの工事を行っているためである。</p>
---	---

## 2. 一般競争入札【市道湊南台住宅3号線災害防除工事】

(説明のポイント)

- ・本工事は、地滑りによる影響が擁壁及び路面に出ており、地下水位も高い地質であり危険な状況であるため、対策工法を行うものである。
- ・入札参加資格は、建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有し、平成9年度以降に完成した公共工事のうち、地滑り対策として行う抑止杭工事の施工実績があることとしている。
- ・配置予定技術者については、申請者との直接的・恒常的な雇用関係があり、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できることを条件としている。
- ・入札参加資格確認申請数は3社、入札参加者数も3社である。
- ・契約金額は28,875,000円、落札率は94.35%である。
- ・業種はとび・土工・コンクリート工事で、登録業者は126社である。そのうち、抑止杭工事ができる業者としては、法面工事の専門業者が13社ある。また、土木コンサル業者のうち、とび・土工・コンクリート工事の許可を持っていて抑止杭工事の施工実績をもつ業者が5社ある。合計して18社を入札参加可能業者として想定していた

質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○このような工事は非常に特殊な工事なのか。</p> <p>○18社が想定される入札参加可能であれば、もう少し参加があってもよかったのではと思うが、それもやはり工事そのものが特殊であったためか。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○年に1回あるかないか、ほとんど出てこない工事で非常に特殊である。過去にも工事実績がほとんどない。</p> <p>○抑止杭工事というのは、非常に特殊で、県内でもほとんど実績が無いものである。とび・土工・コンクリート工事登録業者のうち法面業者についても、ある程度の参加を想定していたが、特殊工事ということで少なかったのではと考えている。</p>

## 3. 指名競争入札【第一中学校外1校空調設備更新工事】

(説明のポイント)

- ・本工事は、第一中学校、第三中学校の老朽化した冷暖房機器の更新を行うものである。
- ・管工事登録のある市内業者で、主たる施工実績が空気調和設備工事である23社から、20社をローテーションで選定した。参加業者は15社だった。
- ・調査基準価格及び最低制限価格を設定しない工事である。
- ・契約金額は8,190,000円、落札率は94.55%である。

質 問 及 び 意 見	回 答
-------------	-----

<p>○施工場所が違うのにまとめて発注するということはよくあるのか。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○今回の工事は、製品材料としてはまとめて購入できるため、その分結果として安くできるのではないかと考えている。</p>
--	---

**4. 指名競争入札【下水道工事に伴う舗装復旧工事】**

(説明のポイント)

- ・本工事は、平成 23 年度に行った下水道工事で各事情により年度内に舗装復旧工事が困難であったものについて、舗装復旧を行うものである。A工区(山代町)、B工区(古志原六丁目)がアスファルト舗装で、各 1,000 m<sup>2</sup>ずつ、C工区(美保関町)がコンクリート舗装を 450 m<sup>2</sup>行うもの。
- ・舗装工事登録のある市内業者のうち、アスファルトフィニッシャーを保有し、恒常的にオペレーターが在籍している 11 社から全者を選定した。入札参加業者数も 11 社だった。
- ・契約金額は 17,850,000 円、落札率は 98.45%である。
- ・落札率が高かった理由としては、橋北、橋南 3 箇所と離れており施工性が悪いこと、アスファルト舗装だけでなくコンクリート舗装もあり、運搬費等の経費が高く見積もられたのではないかとということ、C工区については、下水道工事が依然周囲で盛んに行われており、それら工事との調整が必要であることが考えられる。

質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○舗装工事は全般的に落札率が高い状況か。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○7月までの平均落札率は 94.77%となっている。</p>

**5. 指名競争入札【平成 24 年度稲積川測量調査設計業務委託】**

(説明のポイント)

- ・この業務委託は、測量業務、用地測量業務、物件調査業務、護岸・橋梁・仮設構造物の設計業務、地質・土質調査業務を行うものである。
- ・指名選定の考え方は、土木関係建設コンサルタント業務登録のある市内業者及び準市内業者のうち、建設部門の技術士または R C C M が在籍することを条件に、これらを満たす 23 社からローテーションにより 20 社を選定した。入札参加業者は 20 社全者である。
- ・契約金額は 23,100,000 円である。
- ・落札率が高かった理由としては、2 工区に分かれていること、業務種類が多岐に渡っていること、河川の測量をする場合、川の中に入って行うが、河口側は川幅も広いことなど、業務としての効率性に欠けることが考えられる。

質 問 及 び 意 見	回 答
<p>○入札状況をみると、近い金額が並んでいるが、このような業務は積算がしやすいものか。</p> <p>○ローテーションで選定したとなっているが、外すのが 3 社くらいなら全者指名としてもいいのではないかとと思うが。</p>	<p>○工事と違い、ほぼ人件費で構成されるため、単価に差が無ければ似たような金額になってくることは考えられる。</p> <p>○指名業者の上限数を 20 社と定めている。あとは、金額区分に応じて下限数を定めている。</p>

<p>○ローテーションはどのような方法か。</p> <p>○常に3社ずつのローテーションになるのか。</p> <p>○専門性が高い業務については、上限内で対応できる業者の最大数を指名するという点でよいか。</p> <p>○それぞれでローテーションはどのようになるのか。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○本件の場合、市内業者が17社、準市内業者が6社あるが、市内業者17社に、準市内業者を6社の中から3社を加えて選定した。</p> <p>○特に専門性が高い業務については、対応できる市内業者の数が減ることがある。本件は、標準的な業務として先ほど説明したような選定を行っている。</p> <p>○専門分野ごとにある程度のバリエーションをもって、競争が確保できるように業者を選定している。</p> <p>○基本的に市内業者を優先とし、上限数を超える場合はローテーションとしている。</p>
--	--

**【報告事項】**

1. 指名停止等の運用状況について

- ・工事としては、2件計4業者について指名停止措置を行っている。1件は、松江市発注工事において発生したもので、「安全管理措置の不適切により生じた工事関係者事故」に該当するもの。指名停止要綱の規定に従い、特別共同企業体を構成する3社に対して、いずれも2週間の指名停止措置を行っている。もう1件は、競売入札妨害及び談合の事例で、6箇月間の指名停止措置を行っている。

2. JVの入札実績について

- ・年度別平均をみても案件別をみても、落札率が高い年、案件もあるが、一方で低入札調査案件など落札率が低いものもあるという状況である。平成22年度は、年間落札率を引き下げた要因として度々説明している「松江市防災行政無線（デジタル同報系）整備工事」が、非常に低い落札率となっている。今後も引き続き、実績を把握し推移を注視していきたいと思っている。

3. 舗装工事の落札率等の推移について

- ・舗装工事は現在、市内登録業者のうち、アスファルトフィニッシャーを保有し、恒常的にオペレーターが在籍している11社から全者を選定し、金額に関わらず指名競争入札で行っている。全者指名であること、また、落札率が高めであるということで、継続的に推移を注視することになっているが、今回は全体の平均落札率と舗装工事の平均落札率の年度別推移をグラフにした。全体の落札率に比べると舗装工事が高めに推移していることがわかる。

**【その他】**

〔次回開催予定について〕

- ・抽出対象期間は平成24年8月1日から平成24年11月30日とし、抽出委員は松江市入札監視委員会運営要領の規定により、大野委員とする。
- ・平成25年2月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。

以上